

令和4年度 家庭科「家庭総合」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 1～8組
教科書	家庭総合 自立・共生・創造	副教材等	

1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについての理解を深める。 ・衣食住に関わる生活に必要な知識と技術を習得し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 自分らしい人生をつくる	1. 生涯発達の視点	・生涯発達の視点から今の各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解する。	ワークシート
5		2. 青年期の課題	・自分について考え、自己理解とともに自立に向けての課題に取り組む。	ワークシート
		3. 人生をつくる	・多様な家族の存在を尊重し、性別役割分業から解放された家庭生活を営む意義を知る。	ワークシート
6		4. 家族・家庭を見つめる	・多様な家族の存在を尊重し、性別役割分業から解放された家庭生活を営む意義を知る。	ワークシート
		5. これからの家庭生活と社会	・固定的性別役割分業を見直し、男女が相互に協力して家庭を築き、家族関係をつくる必要性を学ぶ。	ワークシート 行動観察
6	第3章 高齢社会を生きる	1. 高齢期を理解する	・高齢期の心身の変化や特徴を知る。 ・(体験) シニア体験プログラム	ワークシート 行動観察 発言内容
7	第4章 共に生き、共に支える	2. 高齢者の心身の特徴	・基礎的な介助の仕方を学ぶ。	
		3. 高齢者を支える	・老化現象には個人差が大きいことを理解し、高齢社会のあり方について考える。	ワークシート
		4. これからの高齢社会	・高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度(介護保険制度他)と課題を考える。 ・一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知る。	ワークシート
9	第7章 衣生活をつくる	1. 私達の生活と福祉	・多様な人々のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解し、ユニバーサルデザインを具体的に考える。	ワークシート
		2. 共に生きる	・社会保障制度の理念と内容を学ぶ。	
10	第7章 衣生活をつくる	3. 被服をつくる	・被服製作の基本的事項(採寸・布の裁断・縫製)を確認し、被服製作をおこなう。	作品評価
11		4. 被服の役割を考える	・被服のさまざまな機能を整理する。 ・人間と被服の関わりについて社会的機能の側面から考える。	ワークシート ワークシート
12		5. 被服を入手する	・被服衣料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い絵示・サイズ表示などの意味がわかる。	ワークシート
		6. 被服を管理する	・汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。 ・平面構成と立体構成の違いを学ぶ。	ワークシート 行動観察 ワークシート
12			7. 衣生活の	・布を使った伝統的な生活の工夫を知り、現代に

		文化と知恵 6. これからの衣生活	生かす。 ・生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようになる。	ワークシート テスト
1	第5章 経済生活を営む	1. 職業生活を設計する	・高校卒業後について、経済的自立と職業設計の重要性を知り、主体的に考える必要性を理解する。	ワークシート
2		2. 計画的に使う	・収入と支出の実態を知り、家計管理や家庭の経済計画を自分の将来像を含めて考えることができる。	ワークシート 行動観察
3		3. 国際経済と家庭の経済生活	・国際化、複雑化している経済社会と家計が相互に与える影響を理解する。	ワークシート
		4. 現代の消費社会	・消費生活の特徴を知る。 ・自立した消費者を目指し、消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解する。	ワークシート
		5. 消費者の権利と責任	・消費経済における生活情報の収集から、情報の取捨選択ができる知識を身につける。 ・キャッシュレス化が進む現代で多様な支払い方法を知り、契約や消費者信用、多重債務問題を学習して消費者として適切な判断ができるようになる。	ワークシート
		6. これからの消費生活と環境	・持続可能な社会を作るために身近な生活が環境に与える影響を考え、環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考える。 ・実生活の中から問題点を見出し、これまで学んだ知識・技術を生かしてそれを解決するための実践を行う。	ワークシート テスト

3 評価の観点

関心・意欲・態度	人の一生と家族・家庭,子どもや高齢者との関わりと福祉,消費生活、衣食住などについて関心を持ち,その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに,実践的な態度を身に付けているか
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭,子どもや高齢者との関わりと福祉,消費生活,衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし,その解決をめざして思考を深め,適切に判断し,工夫し創造する能力を身につけているか
観察・実験の技能	人の一生と家族・家庭,子どもや高齢者との関わりと福祉,消費生活,衣食住などに関する技術を身につけているか
知識・理解	人の一生と家族・家庭,子どもや高齢者との関わりと福祉,消費生活衣食住などに関する知識を総合的に身につけているか

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- 時間厳守。(3分前着席、提出物)
 - 忘れ物をしない。
 - 貴重品に自己管理徹底。
 - 周りとは協力して、実習は進めていく。
- その他、オリエンテーションでお話します。